

GLOBAL COMMUNICATIONS

世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ

株式会社クレステック
決算説明会



2023年9月1日

(証券コード:7812 東証スタンダード)

本日の内容

1. 2023年6月期決算実績（連結）
2. 2024年6月期業績予想（連結）
3. 中期経営計画
4. 株主還元

Appendix

本社浜松





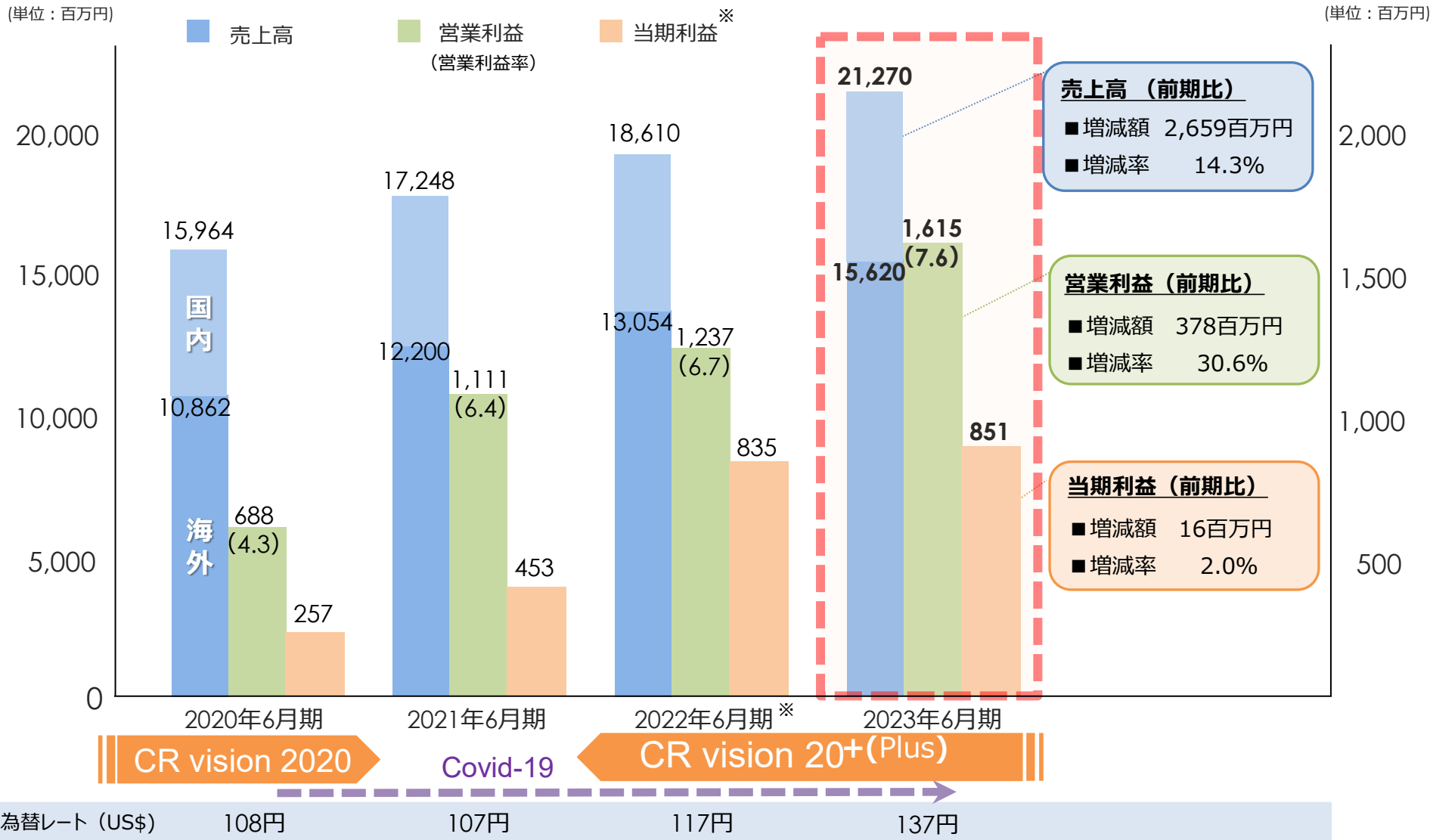
1.2023年6月期

決算実績 (連結)

1. 業績推移
2. 営業利益増減要因
3. 損益計算書(P/L)
4. セグメント別売上高
5. セグメント別営業利益
6. 販売先別売上高

1-1. 業績推移

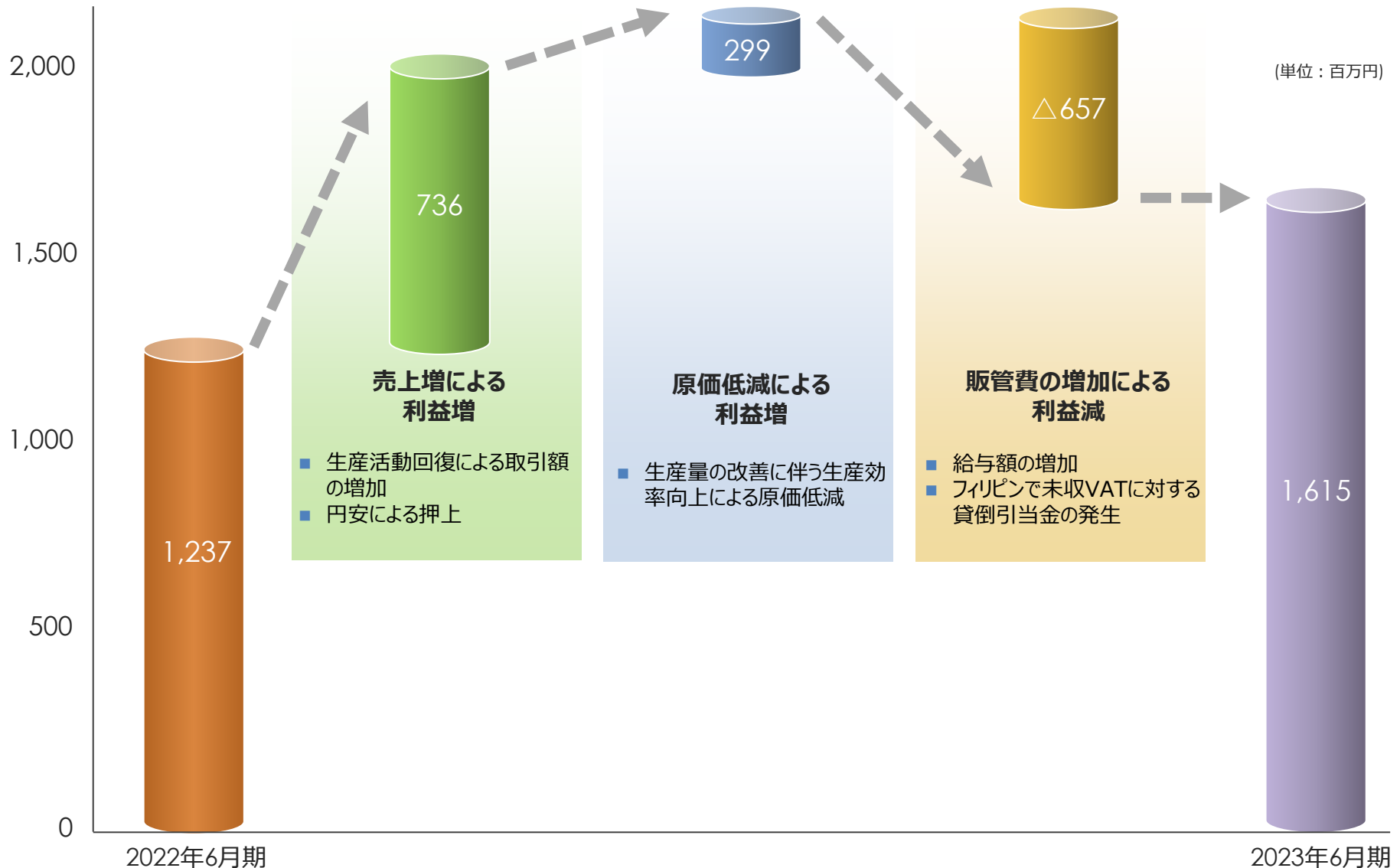
- 新型コロナウイルス感染症の収束により、企業の生産活動も回復
- 収益とも過去4期、継続して最高額を更新（前期比、大幅な円安による収益の押上）



※ 当期利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」について記載
 ※ 2022年6月期については、会計方針の変更による遡及修正後の数値を記載

1-2. 営業利益増減要因

- 売上高の増加及び原価低減による利益増が、販管費の増加による利益減を上回り増益



※ 2022年6月期については、会計方針の変更による遡及修正後の数値を記載

1-3. 損益計算書 (P/L)

(単位：百万円、%)

	実績				
	2022年6月期		2023年6月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額 (率)
売上高	18,610	100.0%	21,270	100.0%	2,659 (14.3%)
売上総利益	5,150	27.7%	6,185	29.1%	1,035 (20.1%)
販売費及び一般管理費	3,912	21.0%	4,569	21.5%	657 (16.8%)
営業利益	1,237	6.7%	1,615	7.6%	378 (30.6%)
経常利益	1,422	7.6%	1,616	7.6%	194 (13.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	835	4.5%	851	4.0%	16 (2.0%)
減価償却費	746	—	781	—	34 (4.6%)
設備投資額	1,226	—	1,674	—	447 (36.5%)

(注) 1. 2022年6月期については、会計方針の変更による遡及修正後の数値を記載しております。

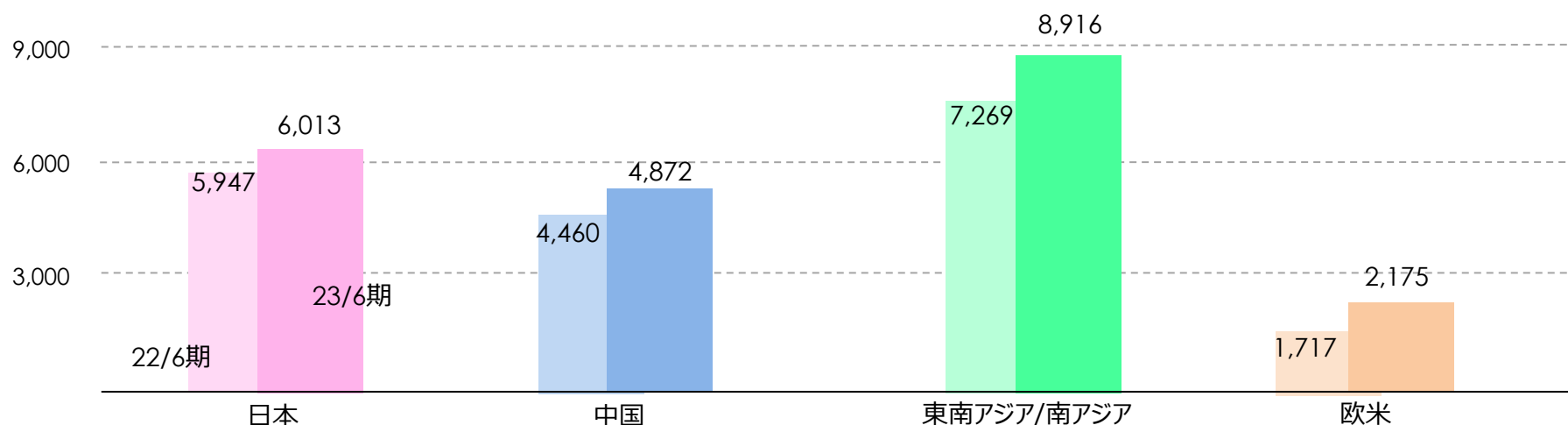
2. 換算レート (期中平均レート) は、2022年6月期は、1ドル117円、2023年6月期は、1ドル137円となります。

1-4. セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	実績					コメント
	2022年6月期		2023年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額 (率)	
売上高						
日本	5,947	30.7%	6,013	27.4%	66 (1.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 電器・輸送機器等、全体に堅調 海外ロイヤリティー（トレードマークフィー）比率引き下げによる減収
中国	4,460	23.0%	4,872	22.2%	411 (9.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 蘇州工場 医薬関係新規も含め堅調に拡大 東莞 商社化による取引減も含め低調
東南アジア/ 南アジア	7,269	37.5%	8,916	40.6%	1,647 (22.7%)	<ul style="list-style-type: none"> フィリピン 生産活動回復、VAT免除対象に インドネシア 新事業分野の取引堅調
欧米	1,717	8.9%	2,175	9.9%	458 (26.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 米国 翻訳、輸送機器取引堅調、新規も 欧州 玩具系電器メーカー取引拡大

<売上高>



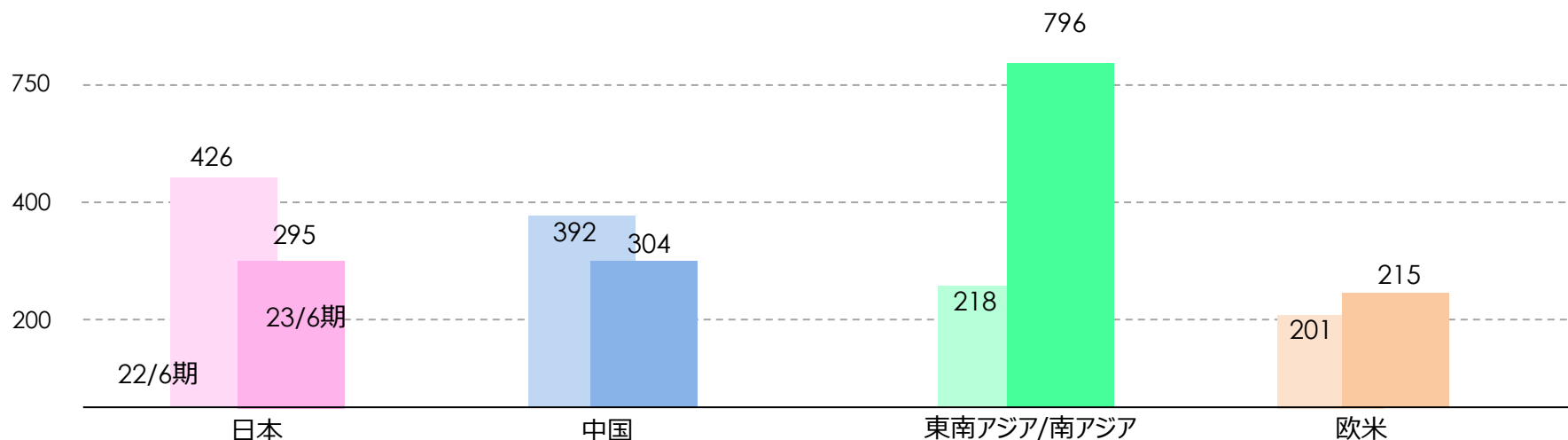
(注) セグメント間取引消去調整前

1-5. セグメント別営業利益

(単位：百万円、%)

	実績					コメント
	2022年6月期		2023年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額 (率)	
セグメント利益 (営業利益)						
日本	426	34.4%	295	18.3%	△130 (△30.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 給与額の増加及び、製品評価損の繰入 ■ 海外ロイヤルティの売上減少による利益減
中国	392	31.7%	304	18.9%	△87 (△22.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 蘇州工場 堅調に推移 ■ 東莞 工場閉鎖に伴う費用拡大
東南アジア/ 南アジア	218	17.6%	796	49.4%	578 (265.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ インドネシア 売上増と生産性向上で利益増 ■ フィリピン 生産拡大と価格転嫁による改善 ■ インド 初の黒字化
欧米	201	16.3%	215	13.4%	14 (7.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国 取引拡大により利益拡大 ■ 欧州 取引拡大により利益回復

<セグメント利益>



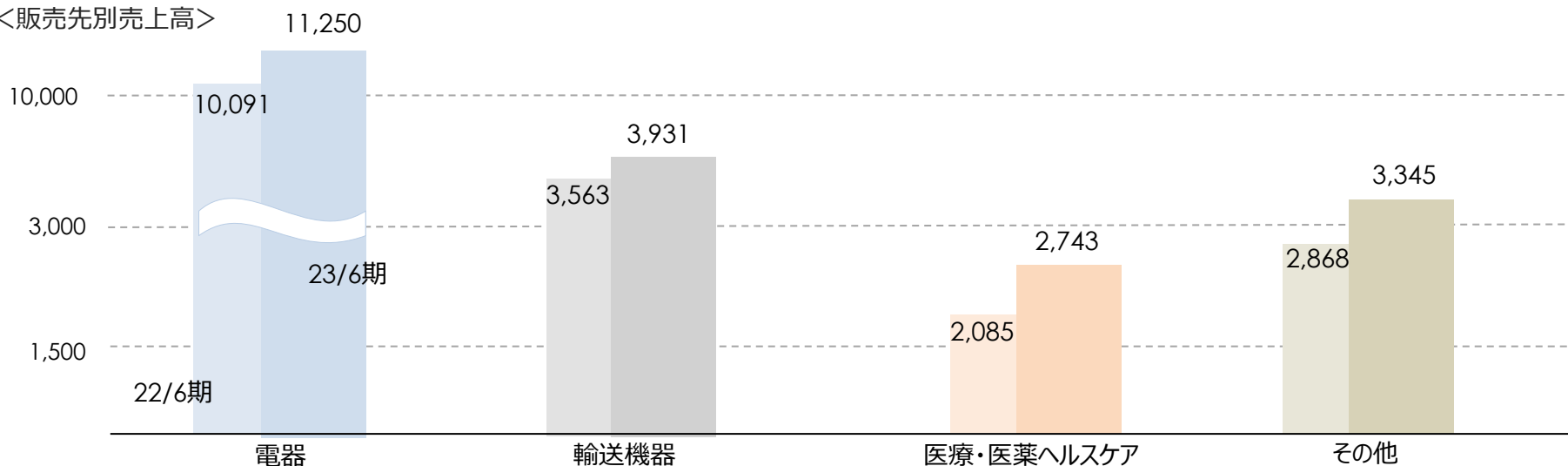
(注) 1.セグメント間取引消去調整前
2.2022年6月期については、会計方針の変更による遡及修正後の数値を記載

1-6. 販売先別売上高

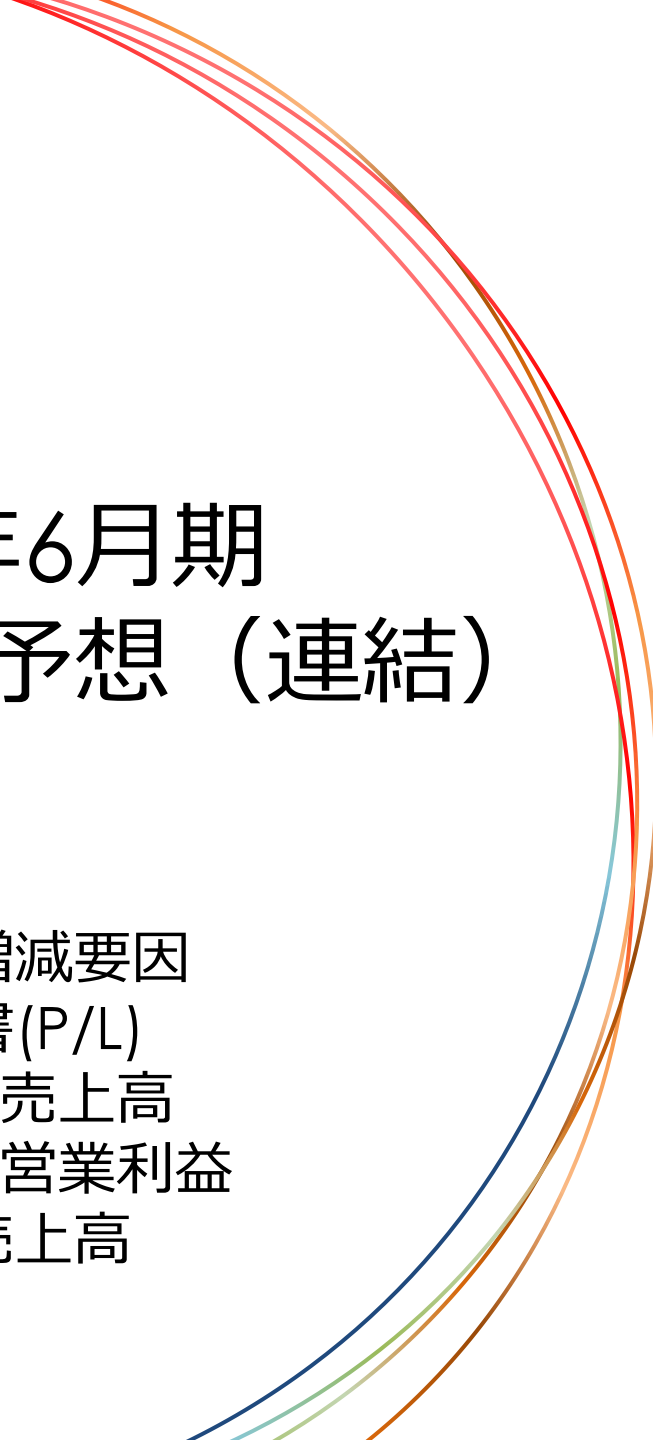
(単位：百万円、%)

	実績					コメント
	2022年6月期		2023年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額 (率)	
電器 (デジタル製品・情報機器・家電)	10,091	54.2%	11,250	52.9%	1,158 (11.5%)	■ フィリピン 半導体不足の解消による 生産活動の回復
輸送機器	3,563	19.2%	3,931	18.5%	367 (10.3%)	■ 米国 主要顧客の 生産拡大 ■ その他の地域も全般に堅調
医療・医薬ヘルスケア	2,085	11.2%	2,743	12.9%	657 (31.5%)	■ 蘇州工場 製薬会社 との取引拡大 ■ その他海外拠点も堅調に拡大
その他	2,868	15.4%	3,345	15.7%	476 (16.6%)	■ インドネシア、上海等 教育系 及び 玩具系 の取引拡大

<販売先別売上高>



(注) 上記実績数値は未監査

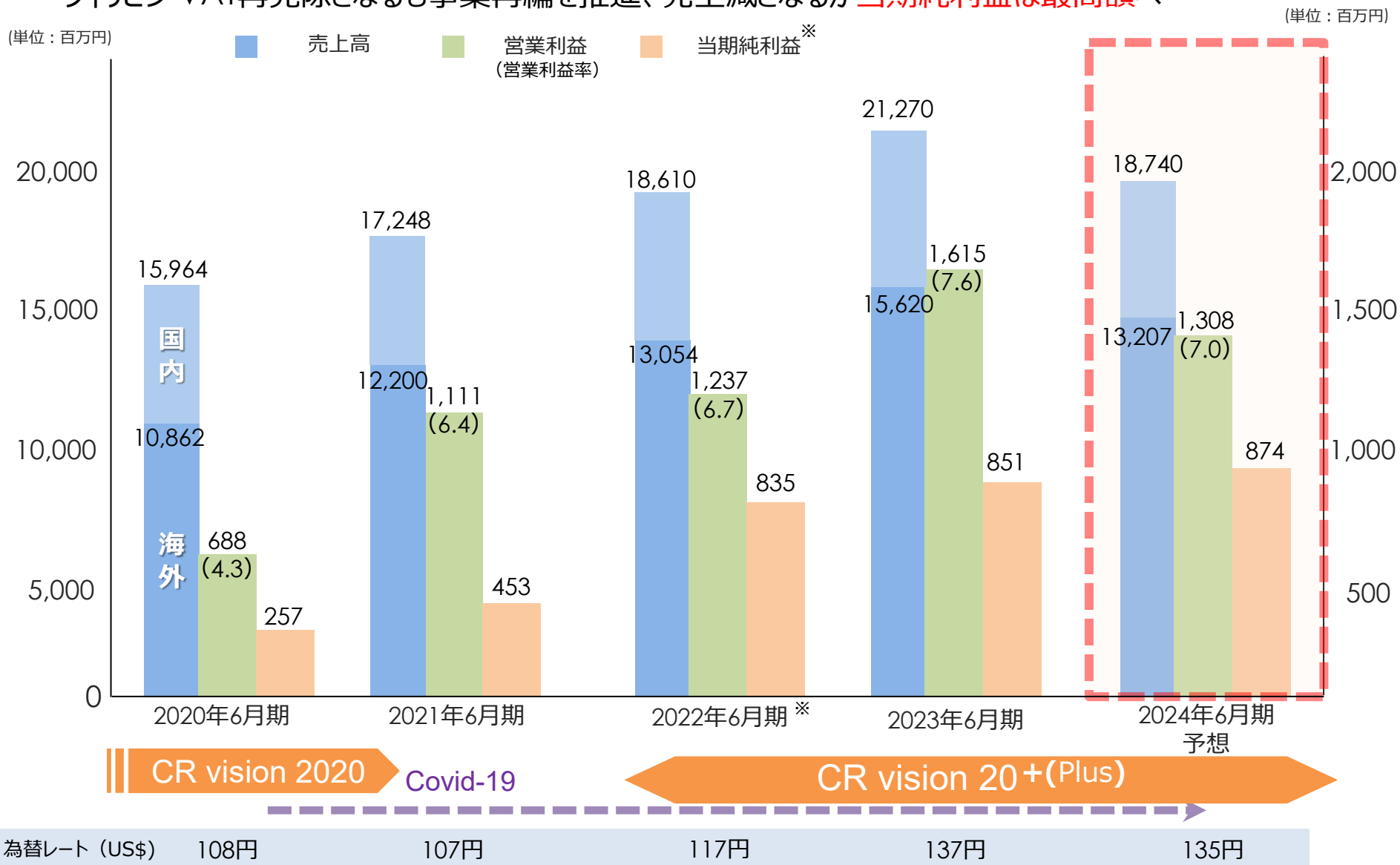


2. 2024年6月期 業績予想（連結）

1. 業績予想
2. 営業利益増減要因
3. 損益計算書(P/L)
4. セグメント別売上高
5. セグメント別営業利益
6. 販売先別売上高

2-1. 業績予想

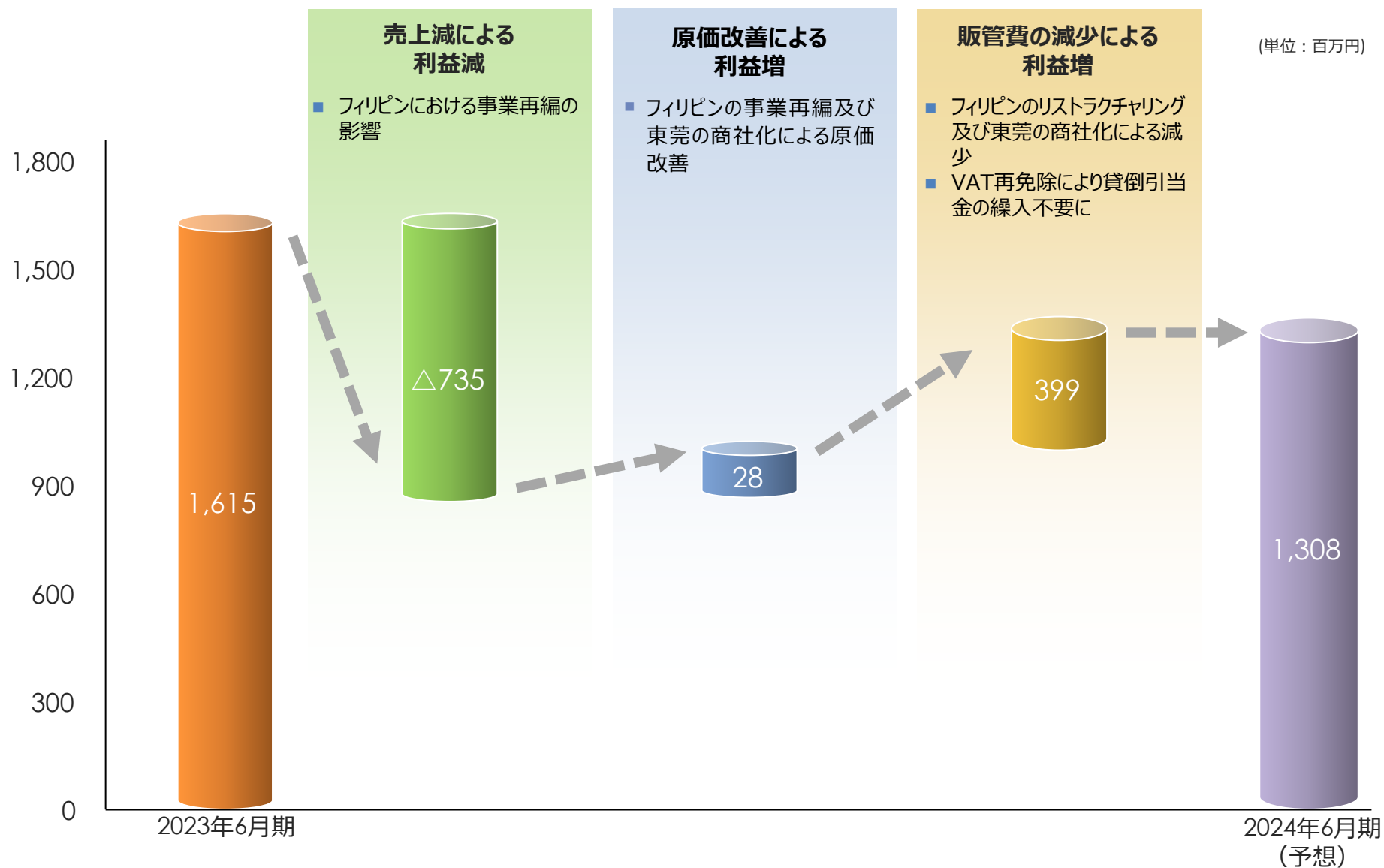
- 世界的なインフレと消費停滞など、世界経済は依然不透明、企業の生産活動も**慎重な動き**
- フィリピン VAT再免除となるも事業再編を推進、売上減となるが**当期純利益は最高額へ**



* 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」について記載 * 2022年6月期については、会計方針の変更による遡及修正後の数値を記載

2-2. 営業利益増減要因

- 原価改善及び販管費の減少による利益増を、売上高の減少が上回り減益



2-3. 損益計算書 (P/L)

(単位：百万円、%)

	実績			予想		
	2023年6月期			2024年6月期		
	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減額 (率)
売上高	21,270	100.0%	14.3%	18,740	100.0%	△2,529 (△11.9%)
売上総利益	6,185	29.1%	20.1%	5,478	29.2%	△707 (△11.4%)
販売費及び一般管理費	4,569	21.5%	16.8%	4,169	22.3%	△399 (△8.8%)
営業利益	1,615	7.6%	30.6%	1,308	7.0%	△307 (△19.0%)
経常利益	1,616	7.6%	13.7%	1,283	6.8%	△333 (△20.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	851	4.0%	2.0%	874	4.7%	22 (2.7%)
減価償却費	781	—	4.6%	801	—	20 (2.6%)
設備投資額	1,674	—	36.5%	1,000	—	△674 (△40.3%)

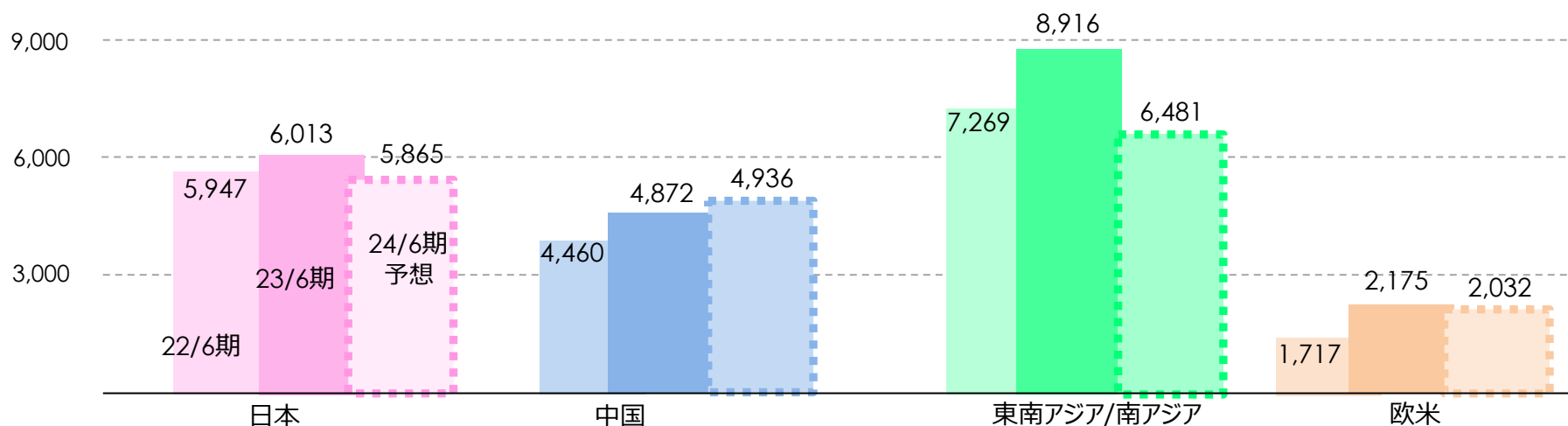
(注) 2024年6月期の想定レート (期中平均レート) は1ドル135円を想定しております。(2023年6月期は137円)

2-4. セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	実績		予想			コメント
	2023年6月期		2024年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額(率)	
売上高						
日本	6,013	27.4%	5,865	30.4%	△147 (△2.5%)	■ 企業の在庫増加傾向により開発案件に遅延あり
中国	4,872	22.2%	4,936	25.6%	64 (1.3%)	■ 蘇州工場 輸送機器関連に停滞感、医薬は堅調 ■ 東莞 商社化による一部取引減少
東南アジア/ 南アジア	8,916	40.6%	6,481	33.6%	△2,434 (△27.3%)	■ フィリピン 事業再編により大幅減 ■ インドネシア 引き続き取引堅調 ■ 他拠点 一部に生産調整あり
欧米	2,175	9.9%	2,032	10.5%	△143 (△6.6%)	■ 米国 輸送機器関係安定、新規顧客拡大 ■ 欧州 輸送機器一部開発停滞

<売上高>



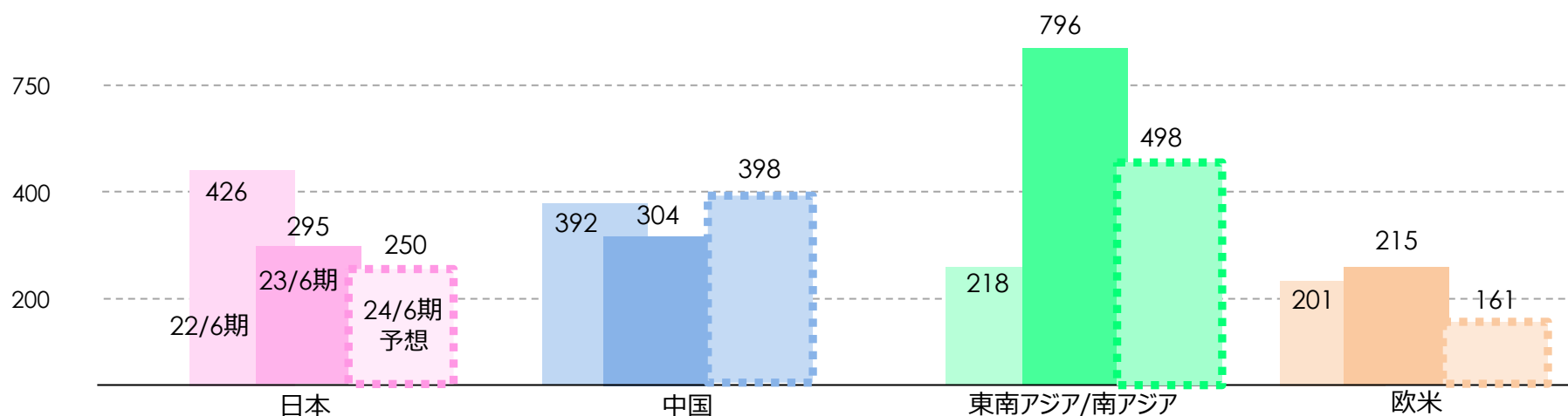
(注) セグメント間取引消去調整前

2-5. セグメント別営業利益

(単位：百万円、%)

	実績		予想			コメント
	2023年6月期		2024年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額 (率)	
セグメント利益 (営業利益)						
日本	295	18.3%	250	19.2%	△44 (△15.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 売上減による利益減 一部子会社の製造原価増
中国	304	18.9%	398	30.4%	93 (30.6%)	<ul style="list-style-type: none"> 蘇州工場 新工場稼働による償却費増 東莞 商社化による製造原価・経費減
東南アジア/ 南アジア	796	49.4%	498	38.1%	△298 (△37.4%)	<ul style="list-style-type: none"> フィリピン 売上減による利益減 他拠点 前期同様、堅調
欧米	215	13.4%	161	12.3%	△54 (△25.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 米国 グループ間取引減、販促費増による利益減 欧州 前期同様、堅調

<セグメント利益>



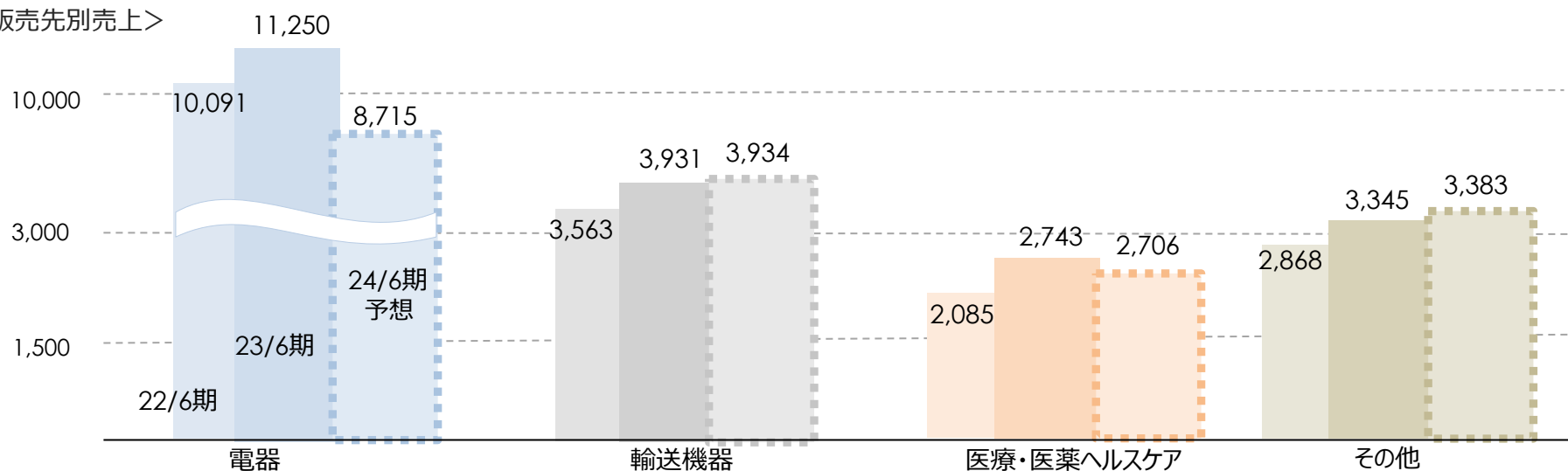
(注) 1.セグメント間取引消去調整前
2.22/6期については、会計方針の変更による遡及修正後の数値を記載

2-6. 販売先別売上高

(単位：百万円、%)

	実績		予想			コメント
	2023年6月期		2024年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額 (率)	
電器 (デジタル製品・情報機器・一般家電)	11,250	52.9%	8,715	46.5%	△2,535 (△22.5%)	■ フィリピンの事業再編により大幅減
輸送機器	3,931	18.5%	3,934	21.0%	3 (0.1%)	■ 安定的に推移
医療・医薬ヘルスケア	2,743	12.9%	2,706	14.4%	△36 (△1.3%)	■ 蘇州工場 堅調に推移 ■ 日本 能書取引の大幅減
その他	3,345	15.7%	3,383	18.1%	38 (1.2%)	■ 前期同様、安定的に推移

<販売先別売上>



(注) 上記実績数値は未監査



3. 中期経営計画

中期（3カ年）経営計画

- ・基本方針(2022-2024)
- ・経営数値目標 進捗
- ・経営重点戦略 評価

CR Vision 20+(Plus)

基本方針

“NEXT 10に向けた企業基盤の安定化へ”

2018年から2020年6月期までのCR Vision 2020を引き継ぐ形で、中期計画を“CR Vision 20+(Plus)”とし、前中期2020にてなし得なかった経営数字の達成と重点戦略を更に強化し、NEXT 10への布石となる企業基盤の安定化を図る。

経営数値目標

経営重点戦略

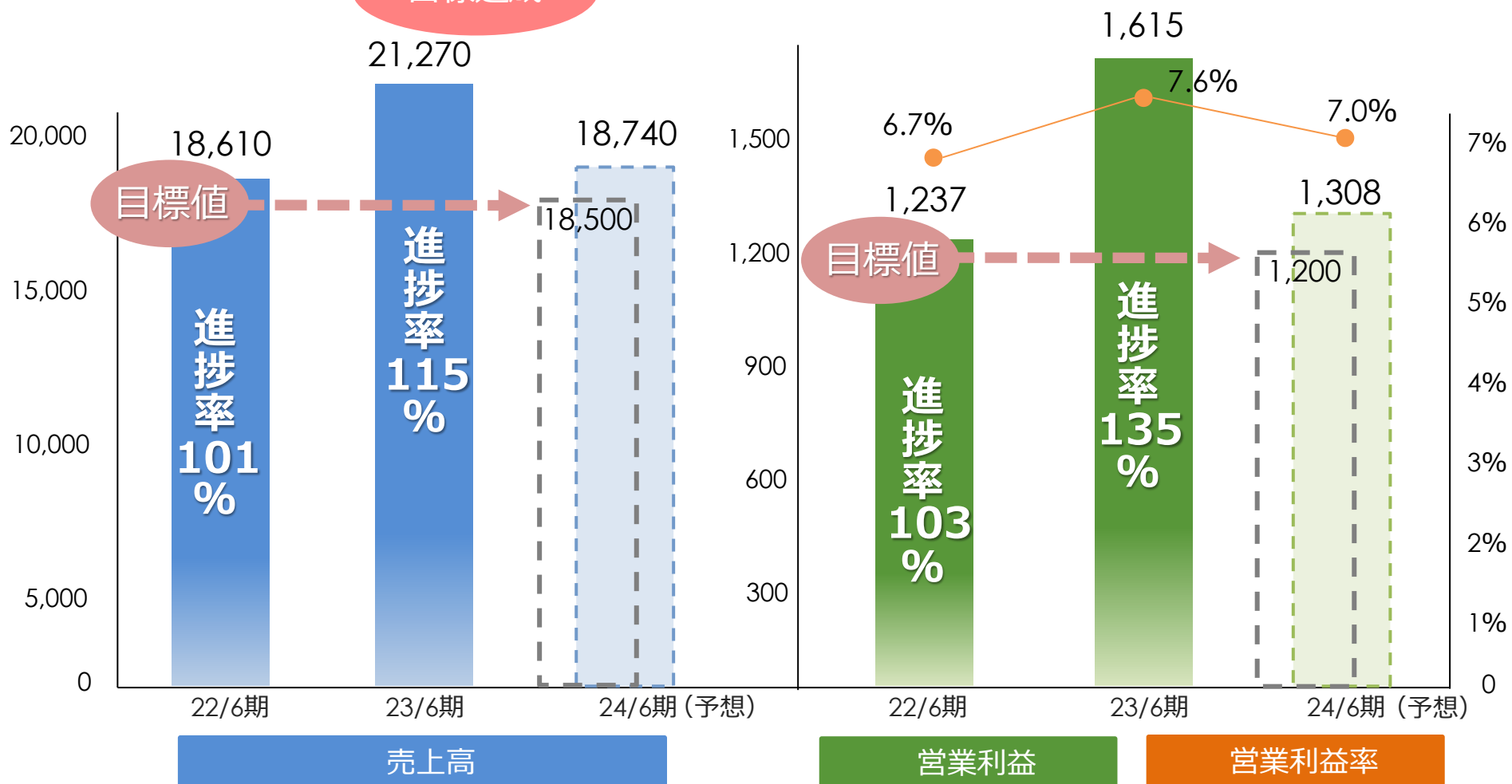
* ウィズコロナの中、経済活動や生産活動に懸念は残るが、外的環境による影響を抑えつつ、どのような環境下でも事業の安定と拡大が出来るよう重点戦略を推進する

2024年数値目標

- トップライン（売上）185億円へ
- 安定的な利益確保で営業利益 12億円へ
- 営業利益率を6.5%へ

- 売上・営業利益（率）とも初年度に**目標達成**
- 中期最終期、次の中期に向け、**基盤固め**へ

目標達成



経営重点戦略

事業強化戦略

- 川上・川下領域の事業拡大
(ナビ社・マインズ社等による販促・BPO事業)
- 特殊分野の事業強化
(輸送機器関連・医薬系・産業機器関連等)
- 企業連携による事業領域拡大
(M&A・企業連携による新事業)

体制強化戦略

- 企業価値向上に向けたCSR促進
(社会的責任を推進し、価値あるグローバル企業へ)
- 人材育成とES向上
(社員教育と労働環境の改善)
- 生産体制の最適化推進
(アジア各拠点の生産体制見直し)

2年目レビュー

コロナの影響もあり、全般的に事業活動の推進が遅れ気味

- コロナ禍で新領域事業は限定的
- 特殊分野は拡大傾向だが、不十分
- M&A推進中だが、未締結


体制強化は順調に展開

- 本社新社屋による労働環境の改善
- 在宅勤務制度正式導入による働き方の改善
- 東莞の商社化完了、インドの黒字化
- フィリピン 事業再編継続中

最終期

- 次の中期に向けた**更なる基盤固め**（人材育成と事業拡大に向けた準備）
- 企業価値向上のための情報発信の強化（株主及び顧客向け）
- フィリピンの**事業再編**を推進、蘇州新工場へのスムーズな移転と稼働

4. 株主還元

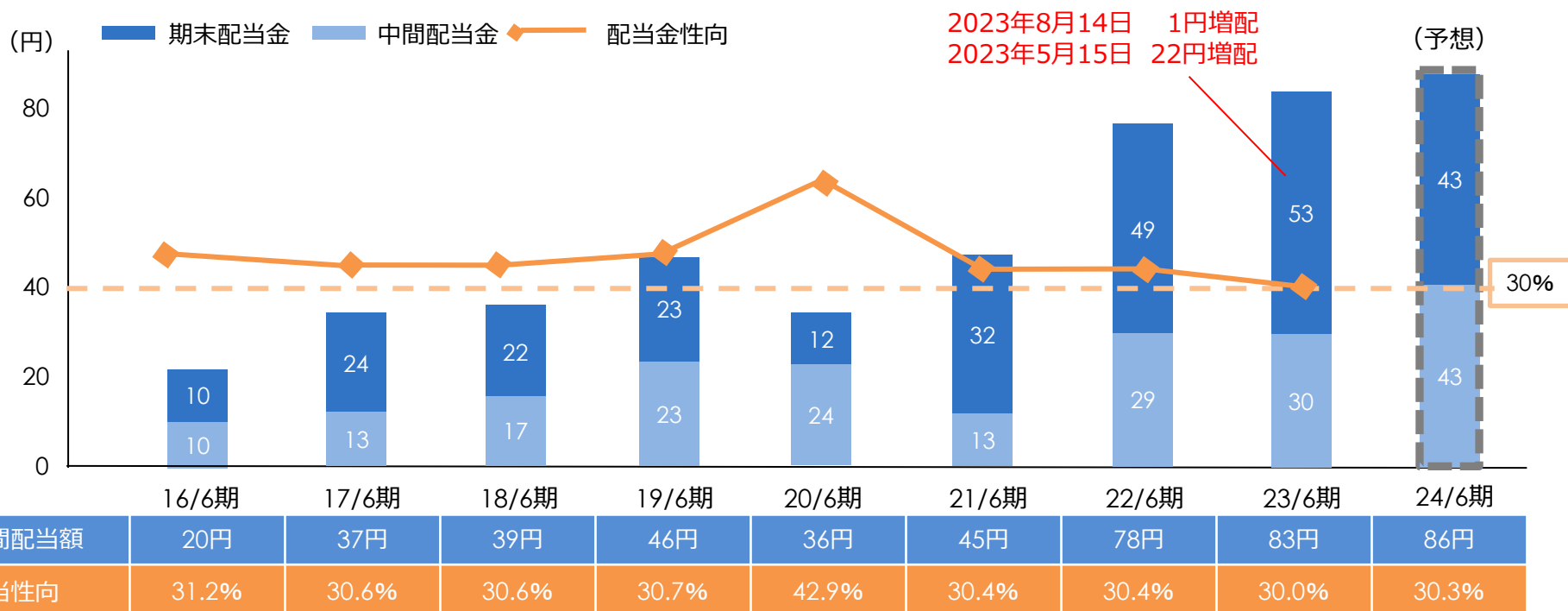


配当方針

- 持続的な投資への内部留保、業績動向及び資金状況等を総合的に勘案して**業績連動型**の配当
- 期末と中間の年2回の配当、配当金額は**配当性向30%以上**を目標

配当金及び配当性向推移

- 2023年6月期配当金額、上場期（2016年6月）から**4倍以上**に
- 上場以来 配当性向30%以上を維持。2024年6月期も**増配予想**



(注) 2022年6月期の配当性向については、会計方針の変更による遡及修正前の数値を記載



Appendix

会社概要

成長戦略概要

成長戦略トピックス

長期戦略方針（10年）NEXT10

Global Communications

“世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ”

■ 本 社：静岡県浜松市北区東三方町69番地

■ 設 立：1984年9月17日

■ 代表者：高林 彰（2011年6月就任）

■ 証券コード：7812（東証スタンダード）

国数・拠点数（連結）



12か国32拠点

連結売上高（6月決算）



212億円

2023年6月期連結売上

従業員数（連結）



1,428人

2023年6月30日現在

翻訳実績

2023年6月末現在



105言語

各バリエーション含む

取引先実績



2,080社以上

クレストックグループの取引先実績

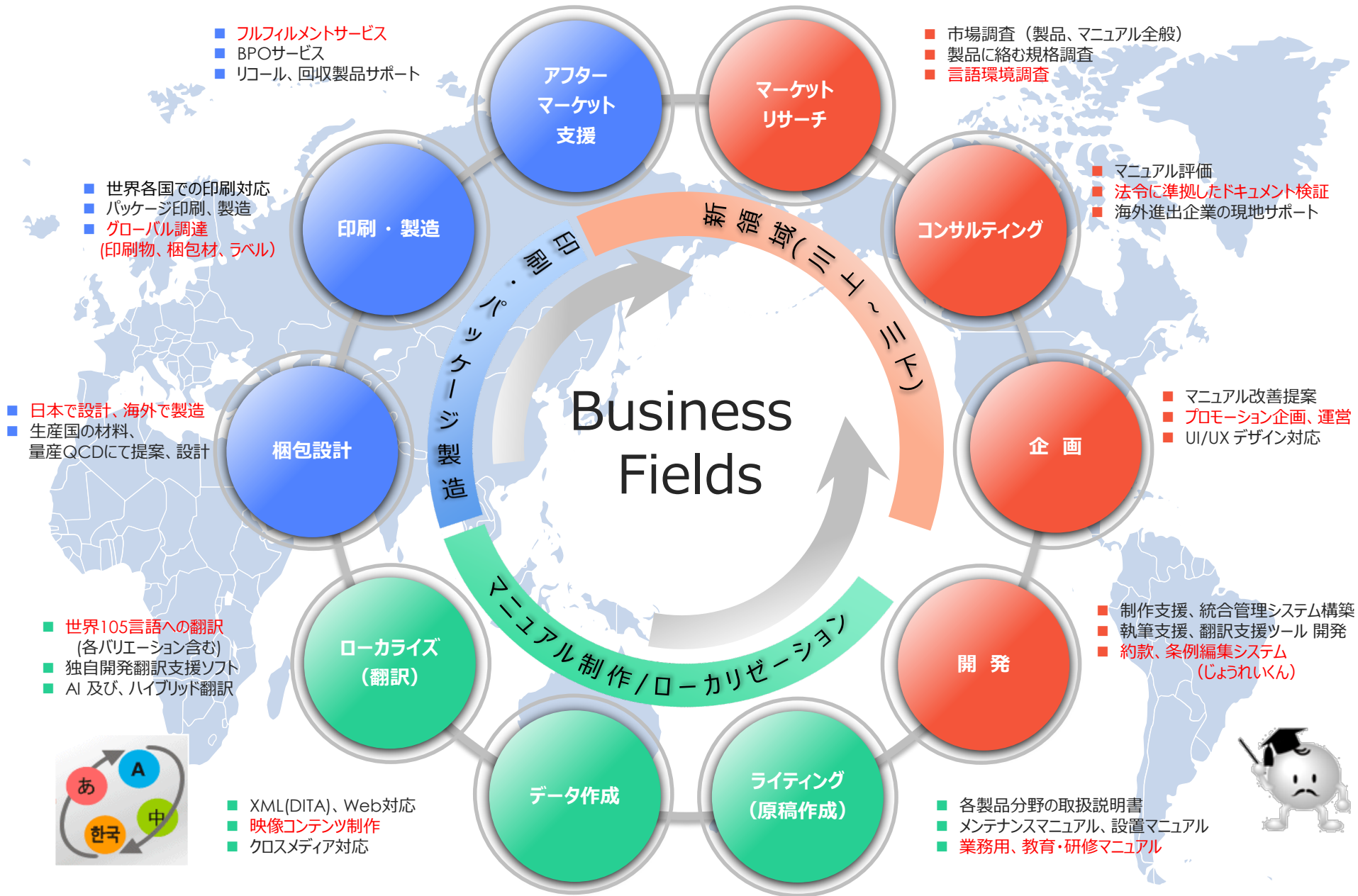
取り扱い品目



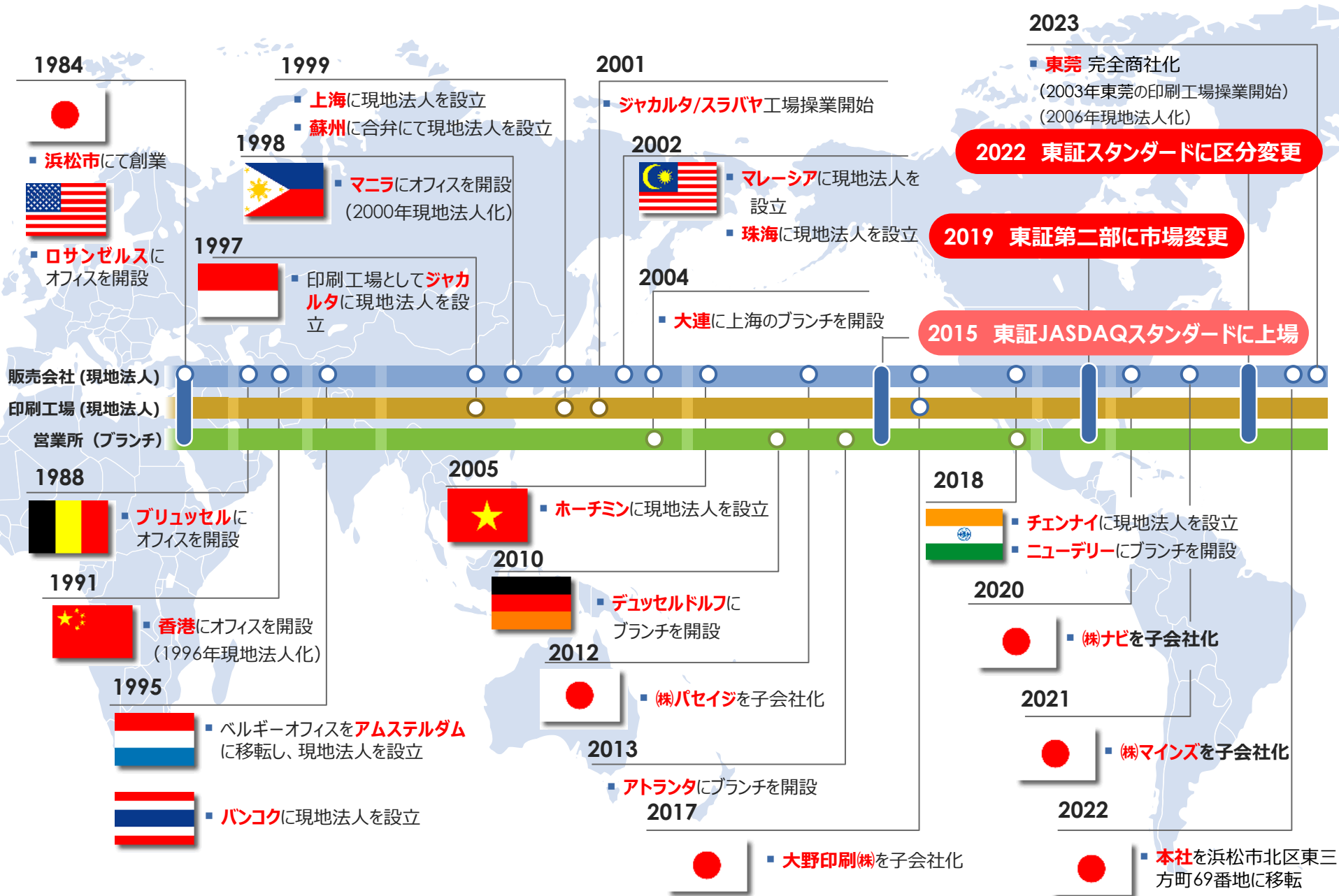
約170品目

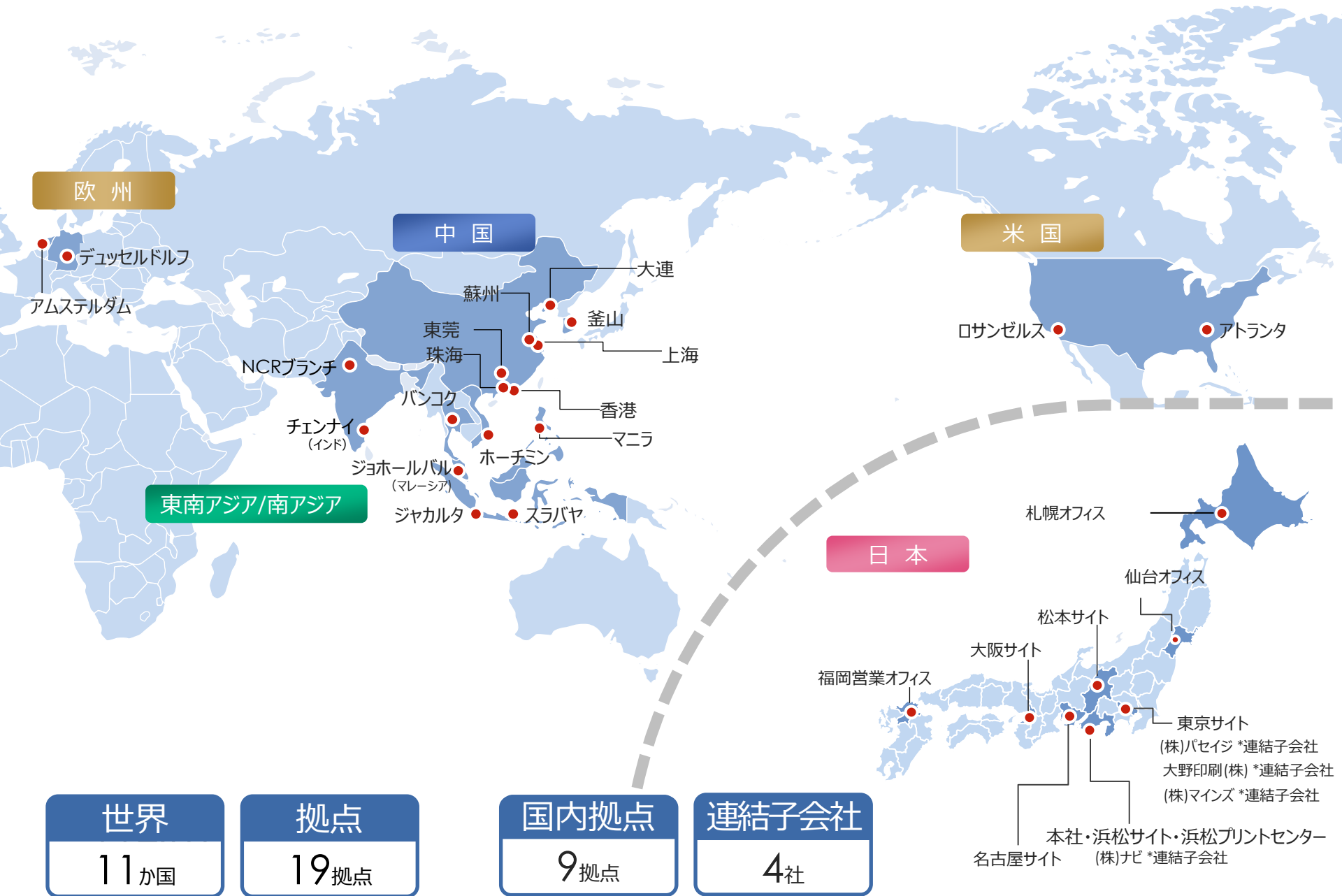
当社が関わった一般消費者向けの品目数

当社グループの事業領域 (サービス項目)



沿革 (海外進出の歴史)





拠点別事業領域 (サービス項目、機能)



● : 主要サービス ○ : サービス対象

セグメント
拠点

		サービス項目									拠点機能					
		マーケットリサーチ	コンサルティング	企画	開発	ライティング	データ作成	ローカライズ	梱包設計	印刷・製造	アフターマーケット支援	製造拠点 (印刷加工 ※POD)	販売拠点 (倉庫 品質管理)	翻訳拠点	制作拠点 (ライティング)	研究・開発拠点
日本	当社(釜山含む)	○	●	●	●	●	●	●	●	○	■	■	■	■	■	※POD印刷/日英言語
	パセイジ		○	●		●	●	○		●		■		■		
	大野印刷		○	●		●	●	○		●	■	■		■		冊子印刷
	ナビ	○	○	●						●		■		■		
	マインズ	●	●	●										■		
中国	蘇州									●	○	■				冊子印刷
	上海 (大連含む)	●	○	●		●	●	●			○			■	■	販促/中国言語
	華南地区 (東莞/他含む)								●	●			■			冊子/パッケージ印刷
東南アジア・南アジア	ベトナム (ホーチミン)								○	●		■	■			パッケージ加工
	フィリピン (マニラ)								●	●			■			
	タイ (バンコク)	○	○	●		○	●	●	○	●			■	■	■	アジア言語
	インドネシア (ジャカルタ、スラバヤ)								●	●		■				冊子/パッケージ印刷
	マレーシア (ジョホールバル)									●			■			
	インド (チェンナイ)	○		○			○	●		●			■			2018年設立
欧米	オランダ (アムステルダム)	●	○			○	●	●		●	●		■	■	■	欧州/中東言語
	アメリカ (ロサンゼルス)	●	○		○	○	●	●		●	●	■	■			※POD印刷

※POD : Print On Demand の略

- サプライチェーンの川上から川下まで**一気通貫のサービス**
- 更なる**拠点拡大**で、世界規模でのグローバル体制強化へ

欧州

- 欧州系言語の翻訳
EU中心に60言語以上対応
- 印刷・アッセンブリー (BPO)
- 販売支援サービス



中国

- 特殊印刷・アッセンブリー
- パッケージ製造
- 翻訳 (中国系言語)
- 販売支援サービス



米国

- マルチメディア (動画、HTML等)
- 業界動向調査
- フルフィルメント
- 販売支援サービス



ONE STOP GLOBAL SOLUTION

翻訳

翻訳・印刷・DTP

印刷・翻訳

印刷

印刷

印刷・販売支援

世界のリソースの有効活用で
最高のQCDを訴求
更に世界どこでも
日本基準のサポート体制

東南アジア/南アジア

- 印刷、パッケージ製造
- 物流梱包資材製造
- 商社機能
- 翻訳 (東南アジア系言語)



日本

- ドキュメント制作、総合ソリューション
 - コンサル、企画
 - 販売支援サービス
 - システム開発



- グローバルの中で**高品質なサービス**提供
- 経験豊富な**スペシャリスト**による安定的なサービス提供



ドキュメンテーション (質の高い制作力)

- 豊富な経験と製品知識をもつ**テクニカルライター**による原稿作成
- 家電から自動車、建機や特殊製品まで多くの製品分野に対応

大学（研究室）との共同研究

大阪公立大学土井研究室

「マニュアルの動画表現の妥当性」について

人間工学の視点やデザイン思考なども含め、今後のマニュアルの在り方や見せ方などを各大学と共同研究を推進！

各種研究レポート

加盟団体



翻訳 (言語のスペシャリスト)

- 翻訳取引額で、**日本で4位**
出所：言語サービスプロバイダーランキング2023
- 100言語以上への翻訳
(2022年累計実績 **105言語**対応)

2023年 CSAランキング

Common Sense Advisory社

総合で世界42位にランクイン

加盟団体



GALA :
Globalization and Localization Association



パッケージ開発力 (グローバル視点での設計提案)

- 海外素材にて**日本にて設計提案、海外製造**へ
- 輸送(積載)効率を考えた梱包設計でコスト低減へ

2021 日本パッケージングコンテスト 受賞

(公社)日本包装技術協会

京セラ社様製品において
「電気・機器包装部門」入賞

開閉機能重視の
テレスコープ型
スマートフォン個装箱



- お客様との技術資料制作の実績で培われた**信頼関係**により、ビジネスフィールド拡大
- 既存事業に加え、販促などの**川上業務**やユーザー支援の**川下業務**も

展開事例

事業領域の拡大

(マーケティング)

営業向け商品説明ツールからイベント企画、ブース運営まで



(販売支援サービス)

お客様の海外市場での販売拡大を目的に海外にて販売代理店を！



POCKETALK
ポケットーク

* ソースネクスト社

「POCKETALK® (ポケットーク)」を海外市場にて販売

(アフターマーケット)

ECサイト構築・運営からフルフィルメント事業まで



信用力

- 長年の技術資料制作の実績から生まれた強いお客様との**信頼関係**

安心感

- 世界中どこでも日本基準をベースとした高い**品質保証**

対応力

- 競合他社にはないグローバル体制にて**一気通貫のサービス**

展開事例

既存事業の深化

(コンサルティング)

マニュアルの分析・評価から海外の法規アドバイスまで

分析・評価

改善提案

既存
マニュアル

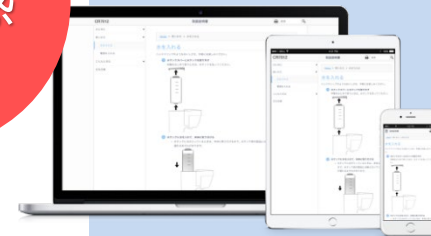


IEC 82079-1
適合マニュアル

(メディア対応)



HTML Forge



PC、スマホ、タブレットなど全てのデバイス、どんな環境でも閲覧できるトリセツデータに！

(商社機能)

製品梱包のノウハウからコスト低減の新梱包資材の提案と調達へ



段ボール緩衝材

品質を追求した新たな事業分野拡大

- 医薬品・医療機器
- ヘルスケア製品
- 生活用品
- 食品・飲料品

**事業分野
拡大**

経営資源を生かした事業領域拡大

- コンサルティング
- 販売支援サービス
- アフターサービス
- BPOサービス

**事業領域
拡大**

ノウハウ・人的資産による事業の深掘り

- 新メディアサービス
- AI化による業務支援
- 翻訳サービス(特殊分野、NMT等)
- 梱包資材開発

**既存事業
深化**

既存事業

国内: ドキュメント制作
海外: 印刷、製造

医薬品業界へ

高品質が要求される医薬品業界へ



・中国、欧米、日本の製薬会社との取引拡大により**設備増強**（蘇州）

・医薬品関連商品にて**日系企業**とも取引拡大（インドネシア）

事業分野
拡大

一般家電から消費財業界へ



インドネシア印刷機



・日系**生活用品**企業及び**医療機器**製造企業と取引拡大（インドネシア）

生活用品・ヘルスケア用品業界へ

マーケティングサポート（川上）

販売促進プロモーションサービス

ロゴマッピングサービス

LOGO Mapping



企業ロゴをベースにイメージーションを刺激する空間演出！

事業領域
拡大

「AIソリューション」
でお客様支援

C's-navi



AIの活用でCS（顧客満足度）向上に貢献する**チャットボットサービス**をご提供

アフターマーケット支援（川下）

“働き方改革”の推進へ

オンラインマニュアル作成・運用サービス

ONLINE MANUAL PLATFORM
COCOMITE
ココミテ

コニカミルタ社開発“ココミテ”の販売契約締結。社内ドキュメントのマニュアル化推進で、企業の**生産性向上**をトータルサポート！

・業務効率化
・技術伝承
・人材育成 等

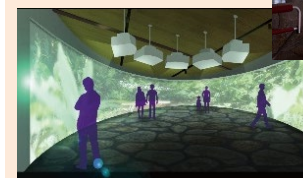


既存事業
深化

新空間「ハーフムーンシアター」

HALF
MOON
THEATRE

180°スクリーンと
コンテンツの融合で
異空間を演出！



企業のPR活動に

新空間でソリューション提供

NEXT 10

(2022-2031)

コーポレートスローガンのもと、長期視点に立ち、更なる変革として**新領域への挑戦**を推進する

新領域への挑戦とは

マニュアル制作から総合情報創造企業として、BtoCからBtoBまで企業内の全ての情報を分かりやすくユーザーに提供できる体制構築を目指して、今後10年 事業の拡大を図る

コーポレートスローガン

Global Communications
“世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ”

ビジョン

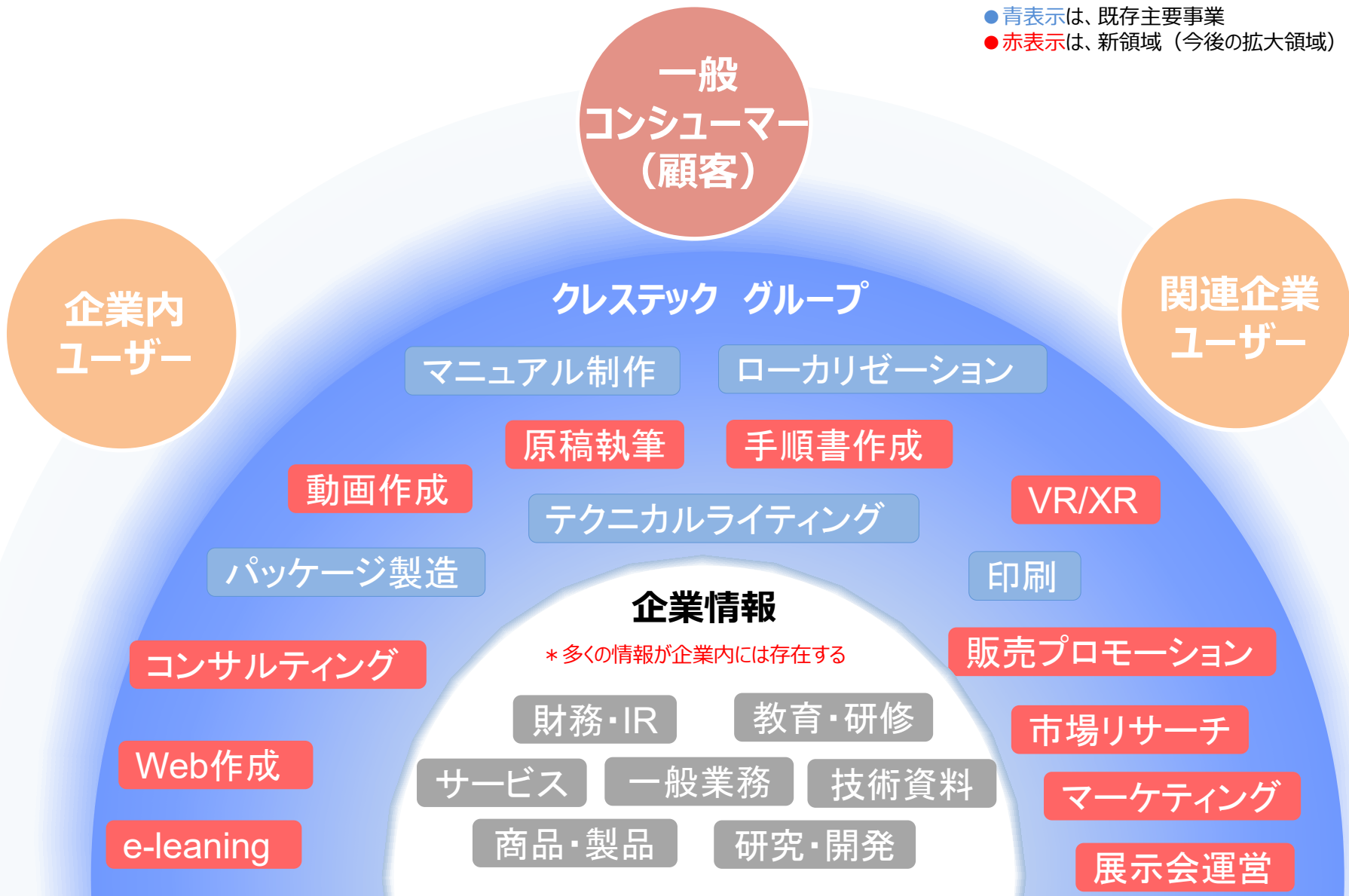
全てのコミュニケーションを創造する「情報創造企業」へ

ミッション

我々は世界の人とヒト、人とモノを繋ぐコミュニケーションを創造することで、伝えたい情報にカタチを与え、世界中の人々の心に感動と喜びを創出し、楽しく安心して暮らせる社会の構築を目指します。

- マニュアル事業から情報を扱う複合サービスへ
- 総合的な情報創造企業への転換 (全ての領域で情報をカタチに)

● 青表示は、既存主要事業
● 赤表示は、新領域 (今後の拡大領域)



- 既存事業が市場性も含め**鈍化傾向**
- 世界各国どこでも“One Stop Solution”を実現するため、**新領域の拡大**へ

新領域

- 川上、川下業務の**拡大**
- M&A (ナビ、マインズ) による**拡大**
- 全体の**10%以上**のビジネスに

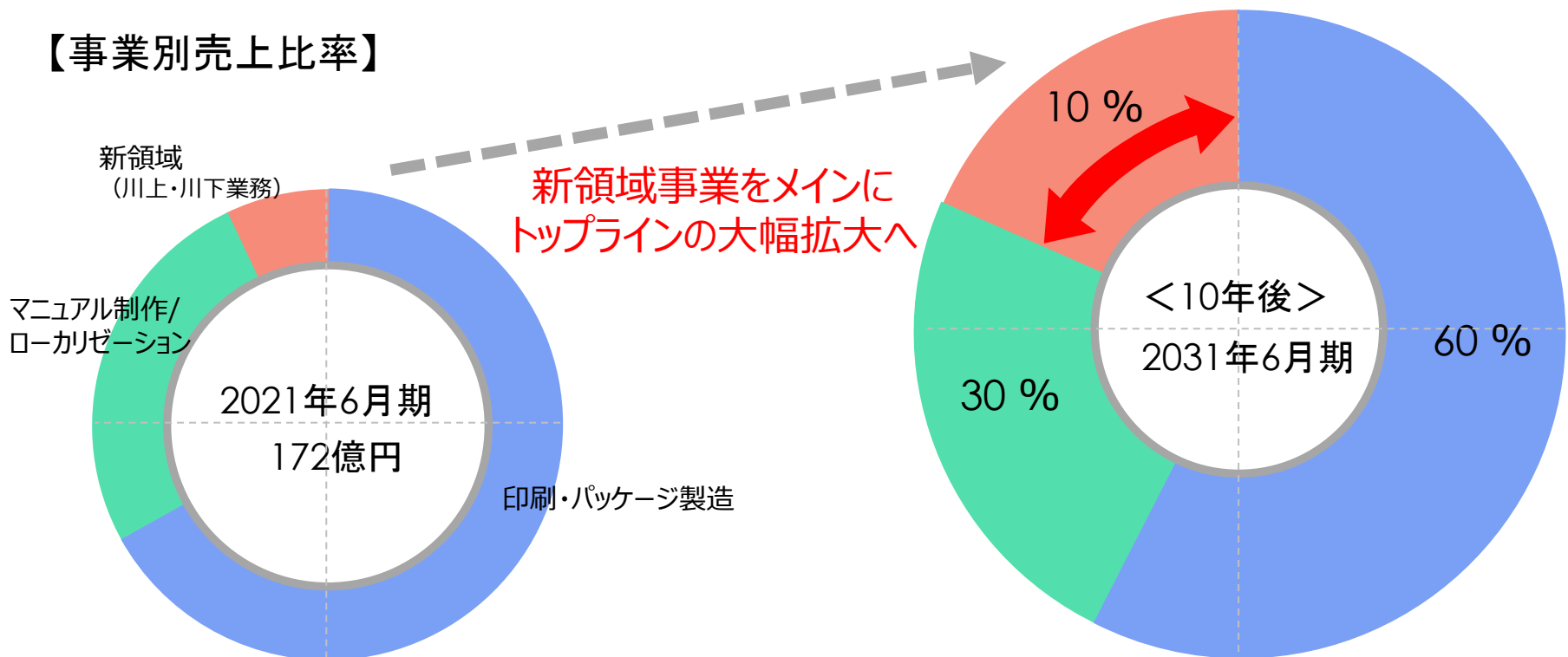
マニュアル制作/ローカリゼーション

- 既存制作は一部鈍化傾向
- 業務系、教育系など**拡大**へ
- 翻訳も特殊分野に**拡大**へ

印刷・パッケージ製造

- 商業印刷、一般取説需要は**減少**
- 特殊分野、パッケージにて取引規模は**純増**へ

【事業別売上比率】



世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ

「情報創造企業」として、我々は世界の人とヒト、
人とモノを繋ぐコミュニケーションを創造することで、伝えたい情報にカタチを与え、
世界中の人々の心に感動と喜びを創出し、
楽しく安心して暮らせる社会の構築を目指します。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社クレストック 管理部 人事総務課

.....

電話 : 053-439-0315

e-mail : ir-info@crestec.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。